

もりのなか

マリー・ホール・エッツ 文・絵
まさきるりこ 訳

福音館書店 1963年 900円



小さな男の子がラッパを吹きながら、森へ散歩に出かけると、らいおんやぞう、くまなど、森の動物に次々に出会います。動物たちは行列をつくって男の子の散歩についていき、森の広場で楽しく遊びます。かくれんぼうで、男の子がおにになり、目をあけるとそこには…。白地に黒一色で描かれたあたたかい絵が、森の中の、静かで不思議な雰囲気をかもしだします。続編に「またもりへ」があります。

やさいのおなか

きうちかつ 作・絵

福音館書店 1997年 1000円



カボチャ・ネギ・ピーマンなど11種類の野菜の断面図を見開きごとに黒一色で描き、「これなあに」とたずねます。そして、次の見開きに、色つきの断面図と写実的な野菜の絵で答えが示される子どもの大好きな当てっこの絵本です。ふだん見慣れた野菜に新鮮な見方を与えます。はじめ、1984年にペーパーバック絵本として出版されました。

やまこえのこえかわこえて

こいでやすこ 作

福音館書店 2001年 743円



「こわくない こわくない」とおまじないをとなえて、山こえ野こえ川こえて、きつねのきつこがおでかけです。お月さまとふくろうといたち達がついてきました。町のお豆腐屋さんできつこが買ったのはあぶらげ100枚です。帰り道、だれかがあぶらげを置いていけとどかしますが、お月さま達が追い払ってくれます。言葉のくり返しが楽しく、動物たちの表情がいきいきと描かれた絵本です。シリーズは「おなべおなべにえたかな？」があります。